

おじゃまします

こんにちは！

みんなのちからいいね倶楽部(つくろうカフェ)



今回はみんなのちからいいね倶楽部、代表の戸ヶ崎さんにお話を伺いました。現在会員は15名。皆さん認知症サポーターの資格を持っています。第3月曜日に“つくろうカフェ”を開催し、介護をしている方、認知症の方とその家族など、誰でも参加することができ、人の輪の中に入るのが苦手な方も安心できる場を提供しています。また、10月に会報第1号を発行し、コロナ禍で顔を合わせることができない期間や、その後も色々な事情があって活動に参加できない方も“仲間としてつながっている証”としてみんなで作った会報紙を届けているそうです。

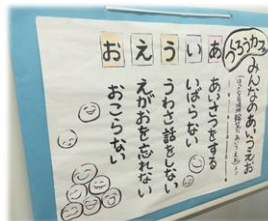
会を立ち上げるきっかけは“やろうと思ったことはやろう！人を当てにせず、楽しいことを。やらなかったら一生が終わっちゃう！”そんな決意からでした。戸ヶ崎さんの実姉は母親の介護の傍ら静岡県で居場所づくりの活動をしており、住み込みでその手伝いをしていました。そこには認知症の方を介護しているご家族が多く、「どんな状況でもほんのちょっと頑張れば楽しくなる。」と言われたことが心に残ったそうです。月に一度帰ってくる加須の風景に、「真っ平らで落ち着く。きっとここで生きていくんだらう。ここで楽しいことを見つけよう。」と思い、手伝った感覚や経験を忘れないうちにと、2017年2月に団体設立、同年4月につくろうカフェを始めました。

人と話すのが苦手だという戸ヶ崎さんは、自分が楽しいと思う物を共有しながら話のきっかけをつかんでいるそうで、「普段の生活の中にも、少し角度を変えて見ると違った見え方をすることがあふれていて、宝の山の中で生活している。知らない、できないことは、皆が教えてくれる。会に参加される80代の方から強さを感じたり、生き様を尊敬する。」と、自分を取り巻く環境、関わる皆さんから多くのことを得て活動していらっしゃる姿がとても素敵で、笑顔で話される戸ヶ崎さんに、こちらまで笑顔になれる時間でした。

『みんなのちからで作ろう！楽しいこと、嬉しいこと。疲れた心を繕いに』ほっこりできる【つくろうカフェ】に皆さんもぜひいらして下さい。



みんなのちからいいね倶楽部
ロゴマーク(デザイン：戸ヶ崎さん)



急募！！



皆さんが、来年度くらくら館にやって欲しいことを募集いたします！

講座

イベント

サポート
など



様々な内容の講座や、人と集えるイベント、こんなことのサポートをして欲しいなどなど…

皆さんがくらくら館にやって欲しいこと、新しい事業のアイデアをお聞かせ下さい。くらくら館に登録いただいている皆さんはもちろん、登録のない方のお問い合わせもお待ちしております。

